



志幌の
志

魅力

～発見・創出・体験・体感

誇り

～好き・尊敬・愛着・自信

未来

～創生・交流・夢・発信

2023
11

作成：士幌町教育委員会

～実践報告第 5 弾～

士幌高校「意見発表全道最優秀賞」

～志から芽生えた想いを人と地域を繋ぐ架け橋に～

※第 43 回全道意見発表会（日本学校農業クラブ北海道連盟主催）で最優秀賞を受賞した、10月31日まで士幌高校農業クラブ執行部会長を務めていた木村萌さん（3年）の原稿を掲載します。

「私が目指す道～「志」から芽生えた想いを人と地域を繋ぐ架け橋に～」

北海道士幌高等学校 3年 木村 萌

「お姉ちゃん、「志」プロジェクトって何？」

私の姉が士幌高校に通っていた頃からある「志」プロジェクトは、学校全体で個人の夢や目標、想いを応援する取組です。私の姉はこのプロジェクトに積極的に取り組んでおり、「販売会で商品の魅力を伝える」という「志」を掲げていました。あるとき、姉が参加する販売会について行ったことがあり、そこで目にしたのは、たくさんのお客さんを相手に自信に満ちた表情で商品の魅力を伝えている姉でした。その姿を見た私は「普通の高校と違って、楽しそう」と思い、士幌高校への入学を決めました。

十勝北部に位置する自然豊かな士幌町には、酪農家で生まれたホルスタイン種のオスを肉用牛として肥育している「しほろ牛」があり、ジューシーで脂身が少ない赤身の特徴としています。また、昼夜の温度差が大きい環境を生かし、士幌高校でも生産しているジャガイモは、でんぷんをたっぷり蓄え、甘みが強くホクホクとしているのが特徴です。その他にも、本校のヨーグルトは、校内で飼育している乳牛の新鮮な生乳を使用しており、販売会でも人気の商品となっています。この魅力ある特産品を多くの人に広めたいと思った私は、コロナ禍で対面での販売会ができない中、「志プロジェクト」の一環として行われた、オンラインストアの開発に取り組みました。しかし、私の心の中では「何か違う」という思いがありました。このもやもやした気持ちを考えたとき、真っ先に思い浮かんだのは、販売会で接客する姉の姿でした。

「私も姉のように、魅力あふれる士幌の特産品を多くの人に広めたい！」

心の中でもやもやしていた思いが晴れ、1つの「志」が芽生えた瞬間でした。

2年生になり、初めて販売会の参加募集があると知った私は、担当の先生に「参加したいです！」と真っ先に伝えに行きました。ようやくやりたい事が現実になると思ったときは、嬉しさが止まりませんでした。しかし、販売会当日、初めての経験の前に前日までの嬉しさは、大きな不安と緊張に変わっていました。そんな私の不安を感じ取ったのか「他のブースに負けないくらい大きな声でがんばんなさい！」というお客様の大きな声が私の目の前から飛んできました。その言葉に今まで自信の無かった背中を押され、「私から商品の魅力を伝えないと！」という気持ちにさせてくれました。店頭には並べられているのは、野菜の授業や課題研究の授業で、丹精込めて栽培した野菜たち。その中でもジャガイモは先生が授業中に「この畑は有機 JAS 認証を取得しているから信頼性の高い野菜なんだよ」と教えてくれたことを思い出し、有機 JAS についてお客様に PR することができました。それを聞いたお客様が「一生懸命、

大切に育てた自慢の野菜なんだね」と言ってジャガイモを購入してくれたときには、さっきまでの不安は消えていました。その後も、大きな声と笑顔で接客し、気づいたときにはすべての商品が完売。空っぽになったブース内を見たときは言葉にならないほどの喜びと達成感がありました。この経験を将来に生かしていきたいと思った私は「志」を次のステージに進めるため、卒業までに2つの「志」プロジェクトに挑戦しています。

1つ目はコミュニケーション能力を高めること。私はもともと人見知りな性格で、誰かに自分の思いを伝えることがあまり得意ではありません。そこで、地元 FM 局が放送する、「士幌高校 志 Radio」の出演を決め、士幌高校で行われている取組や行事について PR を行いました。収録が終わった後にはリスナーさんから「聞いていて親近感がわきました」「士幌高校の取組がよく伝わりました」など心温まるお声を頂き、自分の思いが伝わっていることを確認することができました。

2つ目は情報発信技術を学び、発信していくこと。士幌高校公式 YouTube チャンネルを活用し、士幌町の特産品 PR 動画を作成することで、日本だけではなく、世界中に伝えていきたいと考えています。その先駆けとして、すでにアップされている動画の英語字幕を作成し、編集を行いました。その結果、視聴回数が伸びたことから、言語の幅を広げることの大切さを実感することができました。この経験の先に私が目指しているのは、士幌町での地域おこしです。私は卒業後、士幌町職員として地域おこしに携わり、農家さんたちと協力して、野菜の収穫体験や取れたたて野菜の美味しい食べ方が学べるイベントを開催します。また、その様子を動画で発信することで、多くの人が「行ってみたい！」と思える町にしていきたいです。

10 年目となる「志」から芽生えた私の夢が実を結ぶそのときまで、たくさんの「経験」と「学び」という栄養をこれからも蓄えていきます。そして、士幌町から発信した想いがたくさんの人に届くように活動していきます。士幌高校で見つけた私の「志」を人と地域を繋ぐ架け橋にして。

右に掲げた今年度のイメージ図をご覧ください。木村萌さんの意見発表の内容は、学校運営協議会（CS）で求めているテーマが具現化されていますね。士幌の魅力を感じ、誇りをもって未来へ発信していこうとする「志」が熱く語られています。そして、その木村萌さんの背中を押してくれたのが、地域の方々の声や思いだったことがうかがえます。

「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を併せて実現するのが、

「学校運営協議会（CS）」と「地域学校協働活動」の一体的充実であるといわれています。

士幌高校が先進的に取り組んできた「志プロジェクト」は、こうした「CS&地学協働」の理念に通じるものであり、士幌町の幼小中高連携事業とリンクして各校種での新たな学びに循環しつつあります。士幌高校があることが「士幌町の強み」であることを、改めて感じた木村萌さんの意見発表でした。



- ◆今回紹介した木村萌さん、熊本で行われた全国大会でクラス4名の優秀賞に輝いたそうです。「あっぱれ！」ですね。◆畑の収穫も、残すところはピートくらいなのでしょう。晩秋から初冬へと、時は流れますね。◆今年の紅葉は、猛暑の影響が綺麗な気がしますね。柏の色が、こんなに美しいのは初めてのようになります。◆激辛南蛮の乾燥が進んでいます。今度の休みに、七味唐辛子(六味かも?)とラー油づくりに励む予定です。(渋谷)

大人の『本気』が子どもの『志』を育む！